

洞爺地区ゲートボール協会

会長 佐々木静雄さん 会員13人



洞 爺地区ゲートボール協会は、約30年前にお年寄りの健康増進のため洞爺村時代の教育委員会が主導した際に、それに応えて参加した約40人で発足しました。

ゲートボールは、戦後すぐに芽室町在住の鈴木栄治氏(のちに和伸に改名)が、考案したも

ので、手軽で体力的な負担も少ないという特性から、高齢者に適したスポーツとして脚光を浴びるようになりました。

設立当時は、全国的にゲートボールが振興され、同会も毎年のように全道大会に出場し、西胆振では強豪チームとして名を馳せていました。

ゲートボールは、勝負にこだわり過ぎるくらいがありますが、同会では、親睦を主眼に会員同士が和気あいあいとプレーしています。

会員の平均年齢は、75歳ほどで、最高齢は会長の佐々木さんで94歳です。

魅力を尋ねると「ゲートをうまく通過させた時のうれしさ」や「作戦が大事なので頭を使うのがよい」などの声があがりました。

現在は、洞爺高校の近くにあるゲートボール場で、毎週月曜日と金曜日、13時〜16時まで活動しています。

みんなで集って、ゲートボールで身体を動かしてみたい方は、事務局の白川寿子さん(☎82-5606)へ連絡ください。

今月のワンショット



洞爺湖畔の彫刻清掃とごみ拾いを行った洞爺湖温泉小学校の児童

瑞宝単光章

— 消防功労 —

春 の叙勲で、元西胆振消防組合消防司令の高橋信一さん(虻田3区)が、瑞宝単光章を受章しました。

6月10日には、役場町長室で胆振総合振興局伊東政美副局長から、勲記と勲章が手渡されました。

高橋さんは、38年間消防に勤務し、住民の安全確保のために尽力しました。「職員の皆さんや家族に感謝。2度にわたる有珠山噴火の活動が記憶に残っている」と話しました。



受章した高橋信一さん